



みんなのひと 事務局通信

～平成 28 年 7 月発行～
発行：市社会福祉協議会総務課
住所：相模原市中央区富士見 6-1-20
電話：042-730-3888

熊本地震 現地に職員を派遣

今年 4 月 14 日に発生した熊本地震による被災地復興支援のため、本会は全国の社協間で結ばれている「災害時相互支援協定」に基づき、熊本県南阿蘇郡西原村に設置された**西原村災害ボランティアセンター**（写真下）に 3 名の職員を派遣しました。

派遣期間は 6 月 26 日～7 月 1 日（2 名）、6 月 30 日～7 月 5 日（1 名）の計 2 回、延べ 12 日間でした。地震が起こってから既に 2 か月以上が経過していましたが、ボランティアによる生活支援はまだまだ必要な状況であり、職員は被災者宅を訪問してのニーズの聞き取り、ボランティアと結びつける「マッチング班」や広域な地域で活動を行うため、ボランティアを車両で送迎するための調整を行う「車両班」での業務を担いました。



＜現地の災害ボランティアセンター＞

派遣職員は「被災した光景を目の当たりにし、復興には時間がかかると感じました。業務では日々変化する被災者のニーズと同じく変化する現地を訪れるボランティアの方々を効果的にマッチングすることの難しさを感じました。雨が多い時期でセンターを開所できない時は、被災者の方と一緒に一部避難所の清掃等も手伝いました。今回の経験から、万が一災害が発生した場合には、日頃の防災・減災に向けた様々な取り組みが大切だと感じました」と振り返りました。

みらいチャレンジプログラム応援事業の取組

「みらいチャレンジプログラム応援事業」は市内在住の生活に困窮されている方の自立生活支援や社会参加を促進する活動を行う団体を応援する取り組みです。昨年度は 4 団体（計 2,308 千円）へ助成を行いました。

活動例：ひとり親家庭の子どもを対象に、長期休暇中の居場所づくりとして学習や余暇活動の支援を実施。6 日間で延べ 49 人の参加があり、子どもたちの学習意欲の向上等以外にも、ボランティアの高校生・大学生との異年齢の関係性の構築にもつながった。一方で、対象者の把握を団体のみで行うことは難しく、市社協や他団体との連携が不可欠であった。

今年度は下記のとおり 5 団体（助成合計額 2,552 千円）への助成が決定しています。現在、追加募集を実施しています。今後も、団体の様々な特性を生かした活動への助成を拡充していきます。

No.	団体名	事業内容
1	F・C ボランティア	就労困難者対象の自立支援に向けた花壇管理・花植え事業
2	ちゃれんじ光が丘	低所得世帯の小学生対象の夏休みの交流の場づくり
3	ツナガリ ユナイテッド TSUNAGARI UNITED	低所得世帯の中高生対象の部活動支援
4	NPO法人スカーラ	低所得世帯の小中学生対象の学習支援と子ども食堂
5	NPO法人 男女共同参画さがみはら	ひとり親家庭の小学生等対象の夏休みの交流の場づくり

※他に 2 団体から申請をいただいています

コミュニティソーシャルワーク実践<Vol.13>

本会では地域住民の生活課題の解決に向け、コミュニティソーシャルワーカー（以下CSW）を城山、田名、相武台に配置しています。

仕事を辞め引きこもりがち、という生活課題を抱えている40代Aさんの相談が民生委員からありました。CSWがAさんを訪問し、就職相談機関を紹介。Aさんには就職の希望はあるものの、継続的な外出が難しく来所型の相談機関では就職に結びつきませんでした。

そこで、就職支援センターの職員とCSWがAさんを継続的に訪問し、就労の相談を実施。就労訓練を重ね、Aさんは短期間の仕事に就くことができました。今後も訪問を実施し継続的な就労を目指していくこととなりました。

28年度CSW活動実績(4月から5月)

<対象者状況>

相談者	件数
高齢者	11
身体障がい	0
知的障害	0
精神障がい	1
発達障がい	0
一人親	0
外国籍	0
その他	4
不明	1
合計	17

その他内訳：疾病、引きこもり

来場者5万人達成 ～南区地域福祉交流ラウンジ～

ボーノ相模大野2階の「南区地域福祉交流ラウンジ」では、来場者数5万人達成の記念セレモニーが6月14日(火)に行われました。5万人目の来場者は子育て中の親子の交流の場である、子育てサロン「ぽっかぽか」参加者の東 桃花(ひがし ももか)ちゃんとお母さんの由香(ゆか)さんに記念品が贈呈されました。



<記念品を贈呈する服部南区区長(写真右)と市社協戸塚会長(写真左)>

賛助会員募集駅頭キャンペーン実施

賛助会員募集運動は、市民の方々が取り組む福祉活動の財源を募集するものです。募集にあたっては、地区社会福祉協議会、自治会、民生委員・児童委員の方々にご協力をいただき、趣旨にご賛同いただける方に賛助会員として会費を納めていただいています。また、7月20日にJR相模原駅、JR橋本駅、小田急相模大野駅にて市社協理事、職員による賛助会員募集駅頭キャンペーンを実施しました。



<相模大野駅での活動>

ふれあい給食サービス七タメニュー

ふれあい給食サービスは食事作りが困難な一人暮らしの高齢者等、市内の約1,200人へ配食を行っています。毎年7月7日には、「七タ給食」を実施しています。季節を感じる献立と市内61カ所の保育園児が描いた絵をお味噌汁カップにつけて利用者の方にお渡ししました。



<彩り鮮やかな給食と手作りのカップスリーブに喜びの声が挙がりました>